

令和4年 上半期

火災・救急・救助の概況



NIIGATA JOETSU AREA FIRE DEPT.
上越地域消防局

目 次

火災概況..... 1

1 火災発生状況 1

2 出火原因..... 2

3 火災による死傷者 3

4 損害額の推移 3

5 住宅用火災警報器 4

救急概況..... 5

1 救急出場状況 5

2 救急搬送人員 7

救助概況..... 8

1 救助出場状況 8

2 救助人員..... 9

火災概況

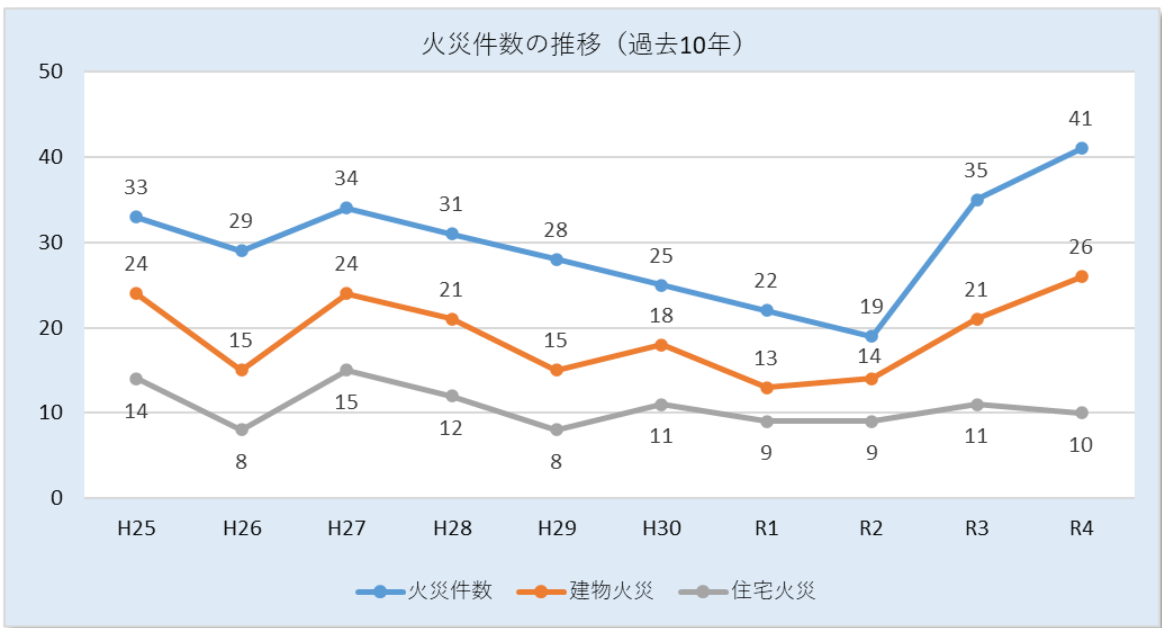
1 火災発生状況

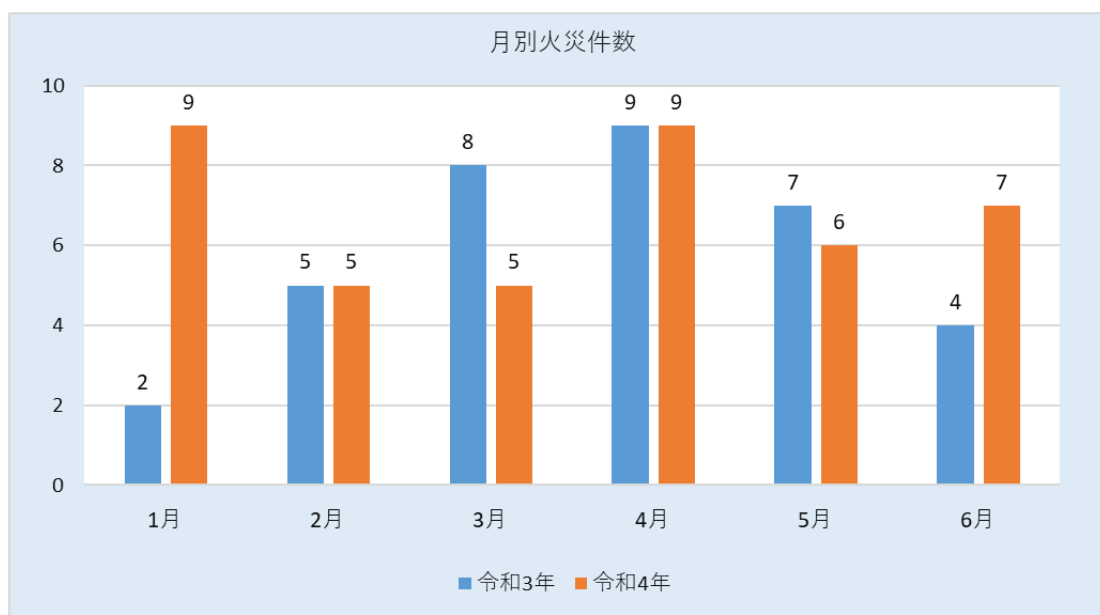
令和4年上半期の火災発生件数は41件で、過去10年間で最も多い件数となりました。
火災種別では、建物火災が26件と最も多く、そのうち住宅火災は10件でした。
月別件数で見ると、1月、4月が最も多い9件でした。

上半期火災発生状況

	令和3年 (件)	構成比 (%)	令和4年 (件)	構成比 (%)	増減 (件)
火災件数	35	100.0	41	100.0	6
建物火災	21	60.0	26	63.4	5
住宅火災	11	(31.4)	10	(24.4)	△ 1
林野火災	1	2.9	2	4.9	1
車両火災	7	20.0	2	4.9	△ 5
その他火災	6	17.1	11	26.8	5

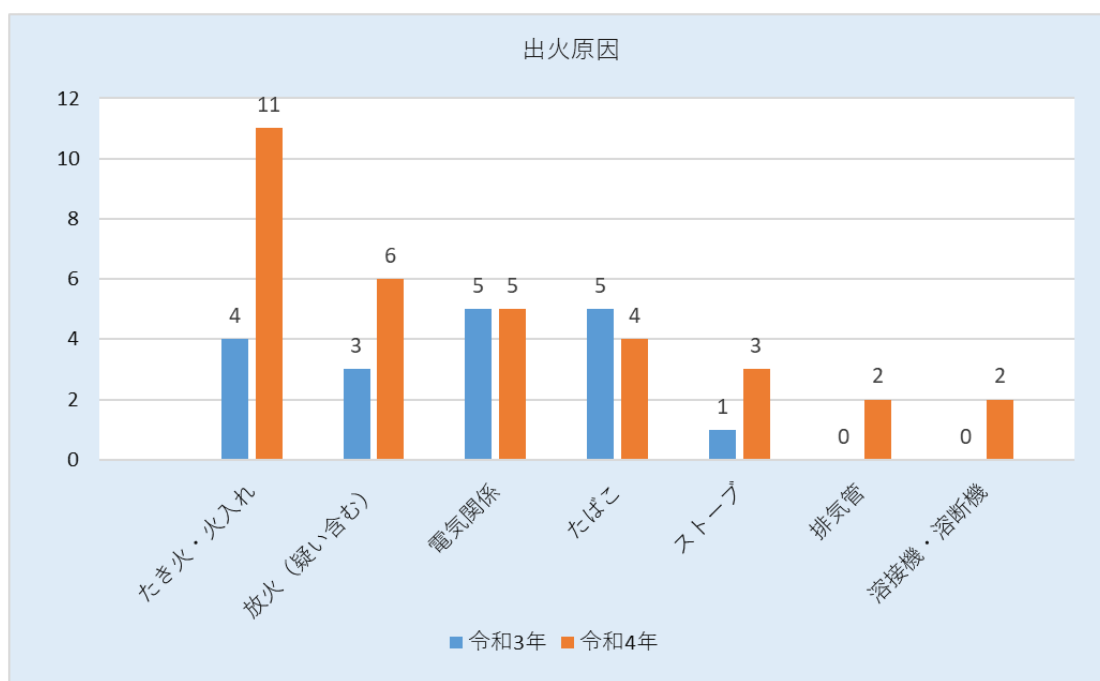
※ () は全火災件数に対する構成比





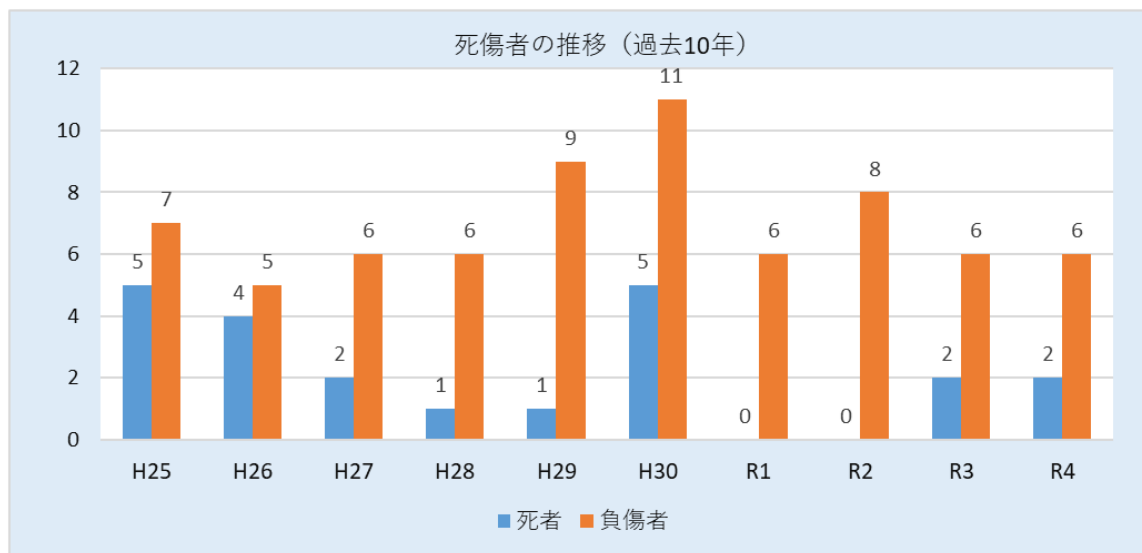
2 出火原因

令和4年上半期の主な出火原因を見ると、「たき火・火入れ」が最も多く、11件の火災が発生しています。「放火（疑いを含む）」は6件、「電気関係」は5件、「たばこ」は4件でした。



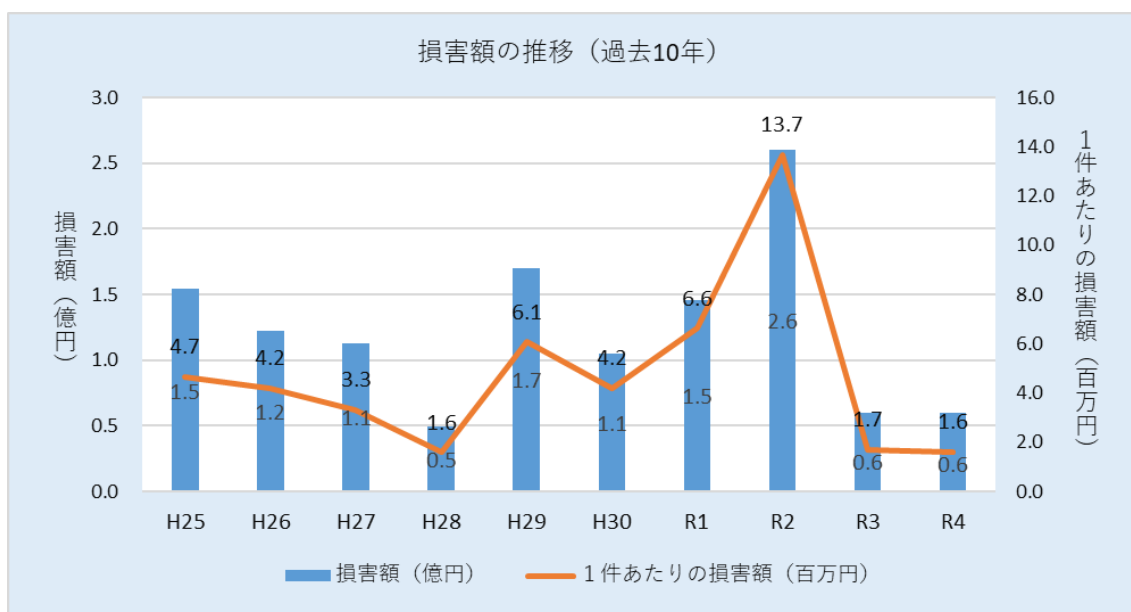
3 火災による死傷者

令和4年上半期の火災による死者は2人、負傷者は6人でした。死者の2人はいずれも建物火災で発生しています。



4 損害額の推移

令和4年上半期の損害額は0.6億円、1件あたり1.6百万円でいずれも昨年と同水準となり、平成28年に次いで少ない損害額となりました。



5 住宅用火災警報器

令和4年6月1日時点における上越地域消防局管内の住宅用火災警報器の設置率は87.8%、条例適合率は55.2%でした。また、作動確認を実施した世帯のうち、全体の2.8%に何らかの不具合が見つかりました。

※設置率：火災予防条例で設置が義務付けられている住宅の部分（すべての寝室と、寝室が2階にある場合は階段の上部）のうち、1か所以上設置されている世帯の全調査世帯に占める割合

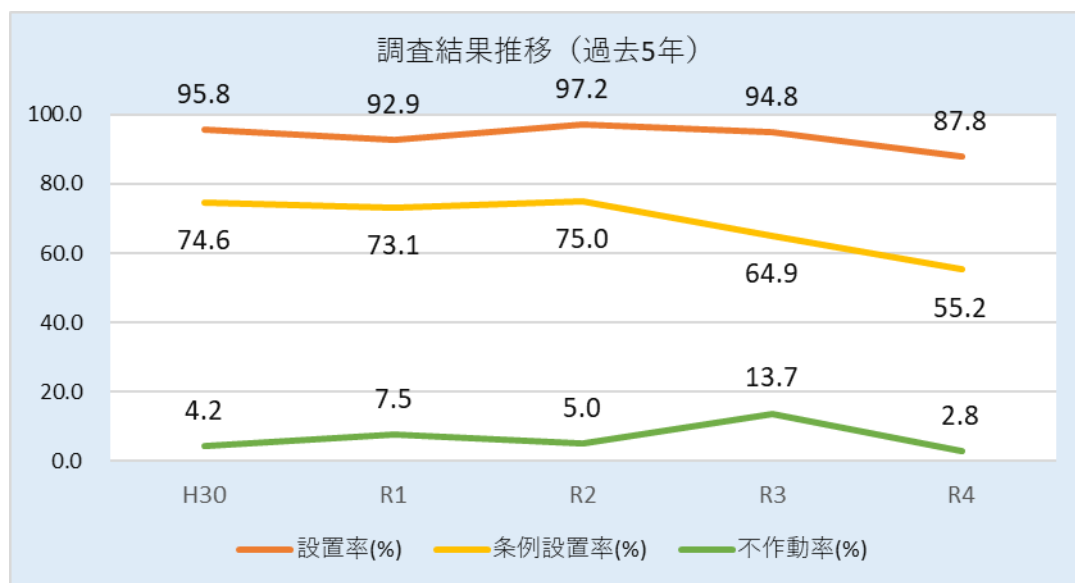
※条例適合率：火災予防条例で設置が義務付けられている住宅の部分（すべての寝室と、寝室が2階にある場合は階段の上部）のすべてに設置されている世帯の全調査世帯に占める割合

※不作動率：作動確認をした世帯のうち、点検時に電池切れや故障等の不具合

	令和3年	令和4年	増減
設置率	94.8%	87.8%	△ 7.0
条例適合率	64.9%	55.2%	△ 9.7
不作動率	13.7%	2.8%	△ 10.9

過去5年間の調査結果推移をみると、設置率と条例適合率が低下傾向にあります。

また、作動点検を実施した世帯に一定の割合で「電池切れ」や「故障」などによる不作動を認めています。住宅用火災警報器の交換目安は10年と言われており、完全義務化となった平成23年頃に取り付けた世帯では既に機器が寿命を迎えているおそれがあります。



救急概況

1 救急出場状況

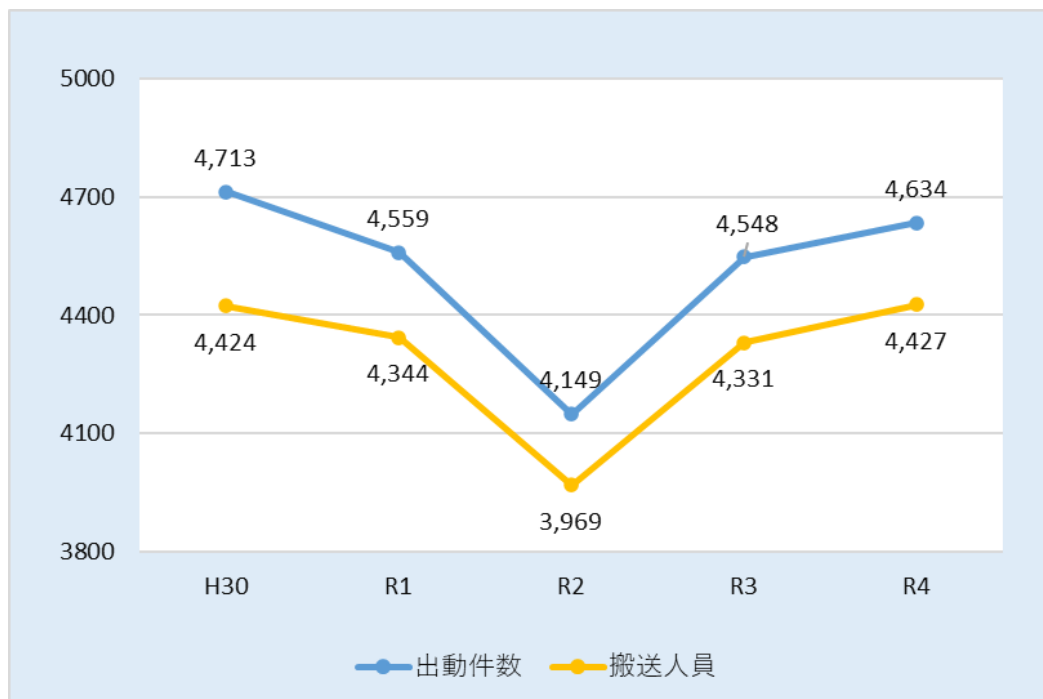
令和4年上半期の救急出場件数は4,634件で、1日平均26件、約55分に1件の割合で救急車が出場したことになります。

昨年と比べ、出場件数は86件、搬送人員は96人増加しています。

上半期救急出場状況

	令和3年	令和4年	増減
出場件数	4,548	4,634	86
搬送人員	4,331	4,427	96

上半期救急出場の推移



令和4年上半期 火災・救急・救助の概況

救急出場件数を事故種別で見ると、最も多いのが「急病」で2,946件、全体の63.6%を占めています。次に「一般負傷」の775件で16.7%、「転院搬送」が543件で11.7%、「交通事故」が176件で3.8%となっています。

上半期事故種別救急出場件数

事故種別	出場件数	構成比
急病	2,946	63.6%
一般負傷	775	16.7%
交通事故	176	3.8%
労働災害	60	1.3%
自損行為	45	1.0%
加害	6	0.1%
火災	20	0.4%
運動競技	21	0.5%
水難事故	4	0.1%
自然災害	14	0.3%
その他	24	0.5%
転院搬送	543	11.7%
合計	4,634	100.0%

上半期月別救急出場状況

	令和3年	令和4年	増減
1月	973	819	△ 154
2月	698	743	45
3月	693	740	47
4月	718	760	42
5月	741	787	46
6月	725	785	60

2 救急搬送人員

令和4年上半期の救急搬送人員は4,427人で、そのうち上越市が84%、妙高市が16%でした。

また、全搬送人員のうち高齢者が占める割合は、71.0%となっています。

上半期地域別救急搬送人員

	新生児	乳幼児	少年	成人	高齢者		計	構成比
						高齢者割合		
上越市	7	88	106	878	2,618	71%	3,697	84%
妙高市	0	11	12	183	523	72%	729	16%
他市町村	0	0	0	1	0	0%	1	0.02%
合計	7	99	118	1,062	3,141	71%	4,427	100.0

※ 新生児：生後28日未満
 ※ 乳幼児：生後28日以上～7歳未満
 ※ 少年：7歳以上～18歳未満
 ※ 成人：18歳以上～65歳未満
 ※ 高齢者：65歳以上

全搬送人員に占める軽症者の割合は平成30年以降、概ね45%前後で推移しています。

上半期傷病程度別救急搬送人員

	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
軽症	1,983	1,904	1,753	1,822	1,915
中等症	1,802	1,791	1,668	1,930	1,908
重症	507	519	429	468	470
死亡	132	129	119	111	134
合計	4,424	4,343	3,969	4,331	4,427

※ 軽症：入院を要しないもの
 ※ 中等症：21日未満の入院を要するもの
 ※ 重症：21日以上入院を要するもの
 ※ 死亡：初診時死亡が確認されたもの

救助概況

1 救助出場状況

令和4年上半期の救助出場件数は29件で、昨年より2件増加しています。また、出場件数のうち、活動件数は20件で、昨年より1件増加しています。

特に、「交通事故」による出場件数及び活動件数が大幅に増加しています。

上半期救助出場・活動状況

事故種別	出場件数			活動件数		
	令和3年	令和4年	増減	令和3年	令和4年	増減
合 計	27	29	2	19	20	1
火 災	2	1	△ 1	2	1	△ 1
交 通 事 故	4	10	6	4	9	5
水 難 事 故	3	2	△ 1	2		△ 2
自 然 災 害	7	3	△ 4	4		△ 4
機 械 事 故	5	3	△ 2	3	3	
建 物 等 事 故	2	5	3	2	4	2
ガス酸欠事故						
爆 発 事 故						
その他事故	4	5	1	2	3	1

※その他事故：山岳事故、転落事故など

令和4年上半期 火災・救急・救助の概況

上半期地域別救助出場件数

		救 助 事 故 種 別								出場件数		増 減	
		火 災	交 通 事 故	水 難 事 故	自 然 災 害	機 械 事 故	建 物 等 事 故	ガ ス 酸 欠 事 故	爆 発 事 故	そ の 他 事 故	令 和 4 年		令 和 3 年
上 越 市		1	8	2		2	5			3	21	25	△ 4
妙 高 市			1		3	1				2	7	2	5
他 市 町 村			1								1		1
合 計	令和4年	1	10	2	3	3	5			5	29	27	2
	令和3年	2	4	3	7	5	2			4	27		
増 減		△ 1	6	△ 1	△ 4	△ 2	3			1	2		

2 救助人員

令和4年上半期の救助人員は19人で、昨年より1人減少しています。

上半期地域別救助人員

		救 助 事 故 種 別								救助件数		増 減	
		火 災	交 通 事 故	水 難 事 故	自 然 災 害	機 械 事 故	建 物 等 事 故	ガ ス 酸 欠 事 故	爆 発 事 故	そ の 他 事 故	令 和 4 年		令 和 3 年
上 越 市			8			2	4			2	16	18	△ 2
妙 高 市			1			1					2	2	
他 市 町 村			1								1		1
合 計	令和4年		10			3	4			2	19	20	△ 1
	令和3年		5	2	6	3	2			2	20		
増 減			5	△ 2	△ 6		2				△ 1		